

SICF11

会期：2010 年 5 月 2 日（日）～5 日（水・祝）

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）

SICF web：http://www.spiral.co.jp/sicf/

スパイラルは、2010 年 5 月 2 日（日）～5 日（水・祝）にかけて 100 組の若手クリエイターによるアートフェスティバル「SICF11」を開催いたします。

次代を担う才能と出会うアートフェスティバル

SICF（スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）は、スパイラルが次代のカルチャーを担う若手クリエイターの発掘と支援を目的に 2000 年にスタートしました。1 次審査を通過した若き才能 100 組が、ゴールデンウィーク期間中の 4 日間、スパイラルホールを舞台に独創的なプレゼンテーションを繰り広げます。

会場内にはアート、プロダクトデザイン、ファッション、映像などさまざまなジャンルで創作活動を行うクリエイターたちの独創的なプレゼンテーションが繰り広げられ、新しい才能とユニークなアイデアがあふれています。

各ブースには出展者が常駐しており、来場者は作品を鑑賞するだけでなく、作家と直接話すことができます。クリエイターの持つ独特の視点や発想は、ときに私達に気付きを与え、社会に一石を投じる思わぬ力を秘めています。

会場にはそんなまだ見ぬ新しい何かとの刺激的な出会いを求め、アートファン、ギャラリストやキュレーター、バイヤー、プロデューサー、美術評論家など 1 日約 1000 名の来場者が訪れます。これらの来場者とジャンルを超えた新しい才能との接点になることで、SICF は若手クリエイターたちの活動を広げる場として機能するとともに、社会に対して新しい価値を創造してきました（添付の参考資料をご参照ください）。

ゲスト審査員に graf 代表の服部滋樹氏！ 受賞者にはリアルな活躍の場を提供！

SICF では優秀な作品に対し、グランプリをはじめとする



各種の顕彰を授与し、その活動を支援しています。

SICF11 で各賞を選出する審査員は、

南條 史生（森美術館館長）

浅井 隆（有限会社アップリンク社長）

佐藤 尊彦（株式会社ビームス販売促進部プレス係長）

服部 滋樹（デザインオフィス graf 代表）

岡田 勉（スパイラルチーフキュレーター）の 5 名。

日本のカルチャーを牽引してきた審査員陣がどのような才能を見出すのかは必見です。また今回から、スパイラルマーケット賞を新設。受賞者にはスパイラルマーケット（スパイラル 2F）で実際に作品を展示・販売するチャンスが与えられます。

SICF は、クリエイターと社会とをつなぐさまざまなチャンネルを用意して出展者の活動を支援してまいります。未来を担うクリエイターたちを探しに是非「SICF11」にお越しください。

取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 加藤美穂、清水さえみ、四元朝子（よつもと ともこ）

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 E-mail press@spiral.co.jp

http://www.spiral.co.jp/



スパイラルは 2010 年 10 月、25 周年を迎えます。

SICF11 出展クリエイター

Group A

- 1 有吉 達宏【映像】
- 2 Akiyuki Ina【ミクストメディア】
- 3 高野 幸雄【ランプ】
- 4 小林 清乃【コンセプチュアルアート】
- 5 梶尾 聡美【テキスタイル】
- 6 Fairground Attraction【フェルトメイキング】
- 7 にほんあし【グラフィック&イラストレーション】
- 8 Carton【クラフト雑貨】
- 9 村上 慶【写真】
- 10 井澤 由花子【絵画】
- 11 hisabisani kaeru【ジュエリー／アクセサリ】
- 12 小川 陽子【タイポグラフィ】
- 13 カトリ【平面絵画インスタレーション】
- 14 清水 玲【インスタレーション】
- 15 齋藤 まゆ【陶芸】
- 16 かなやまひろき【平面作品】
- 17 秋場 康平【油絵】
- 18 sun'oco(すのこ)【ガラスフェルト雑貨】
- 19 野辺 ハヤト【ペインティング】
- 20 加藤 伸郎【写真】
- 21 Anima【ジュエリー】
- 22 塚本 正人【ドローイング】
- 23 宮島 奈歩【ナチュラルデザイン】
- 24 Noble novel 【コスチュームアクセサリ】
- 25 okada mariko【刺繍(ミクストメディア)】
- 26 金子 貴尚【絵画】
- 27 毛塚 友梨【陶芸】
- 28 Natsuyo Takahashi【造形家】
- 29 VRANA【ハンドプリント布製品】
- 30 はっぴーぱんつ【フェルト】
- 31 高田 賀奈絵(高は旧字体)【立体】
- 32 伊藤 和代【平面】
- 33 Wind Press 71(森千章)【イラストレーション】
- 34 楯 とおる【平面絵画】
- 35 藤田 伸【アートワーク(半立体作品)】
- 36 中原 智美【ドローイング】
- 37 千浦 真由美【ファッション】
- 38 空間 lab.【映像】
- 39 伊藤 瑞江【絵画】
- 40 植田 麻由【陶立体】
- 41 芝辻 ペラン 詩子【改造おもちゃアート】
- 42 Biohybrid Art Lab × FU TSURUMAKI【Biohybrid Art】
- 43 W6【インスタレーション】
- 44 重田 淑子【フルーツ&ベジタブルカービング】
- 45 はっとりこうへい【彫刻】
- 46 王 微思【絵画】
- 47 siki【アクセサリ】
- 48 奥村 章代【美術】
- 49 寺村 サチコ【アクセサリ／写真】
- 50 志水 聡香【インスタレーション】

Group B

- 1 坪木 敦美【インスタレーション】
- 2 mimmog【プロダクト】
- 3 田口 悠菜【アート】
- 4 原田 郁【絵画インスタレーション】
- 5 はなぞのストア【企画ほか】
- 6 長野 由美【インスタレーション】
- 7 佐藤 明日香【ボールペン画】
- 8 小輪瀬 護安【イラストレーション】
- 9 タカシマ ユカ【テキスタイル／雑貨】
- 10 木賀陽子【インスタレーション】
- 11 姫田 真武【キャラクターイラストレーション】
- 12 青木 美歌【インスタレーション】
- 13 井村 一巴【写真作品】
- 14 Qpon【アパレル】
- 15 小泉 忍(小泉忍デザイン事務所)【プロダクトを用いた空間展示】
- 16 川上 幸子【彫刻】
- 17 小林あつこ【ファッション】
- 18 凡土【絵画・立体】
- 19 大友 邦子【アートワーク】
- 20 北原 恵子【平面作品】
- 21 松浦 哲也【ファッション】
- 22 三好 玄也【絵画】
- 23 市原 悠輔【アート】
- 24 OUVI【建築／プロダクト】
- 25 松浦 さくら【アート】
- 26 イシカワナナ【コサージュアート】
- 27 BlockingWood【木版画】
- 28 KICHIKO【デザイン】
- 29 鶴田 昌子【テキスタイルデザイン&アート】
- 30 和田 綾子【デザイン】
- 31 渡部 直也(Naoya Watabe)【アクセサリ】
- 32 村田 繭衣【七宝焼き】
- 33 宮崎 啓太【Fine Art】
- 34 空地スペシャル【インスタレーション】
- 35 COCOCOCO【時・空間インスタレーション】
- 36 久保田 磨美【現代美術】
- 37 浅木 翔【トリックアート】
- 38 山羊発電【アニメーション】
- 39 キイロ【幻想的な風景】
- 40 加藤 正臣【グラフィック／アニメーション】
- 41 工藤 修司【立体】
- 42 Little Hello【メッセージカード／ガーランド】
- 43 g-Ropin_1(ギャロパン)【Land grafique(ランド グラフィック)】
- 44 吉田 有希【平面作品】
- 45 上田 普【書】
- 46 CASE GROUND【インテリア／家具】
- 47 大石 麻央【美術】
- 48 井上 佐由紀【写真】
- 49 永楽 雅也【グラフィック】
- 50 しみずえりこ【靴下】



SICF11 開催概要

表記：**SICF11**(エスアイシーエフ・イレブン)

開催期間： Aグループ 2010年5月2日(日)～3日(月・祝)11:00～20:00
 Bグループ 2010年5月4日(火・祝)～5日(水・祝)11:00～20:00

会 場：スパイラルホール(スパイラル 3F) 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1, B3 出口すぐ

料 金： 1 日券 一般 700 円 / 学生 500 円
 2 日券 一般 1,200 円 / 学生 800 円
 4 日券 一般 1,500 円 / 学生 1,000 円

主 催：株式会社ワコールアートセンター
企画制作：スパイラル
会場構成：CLIP
グラフィックデザイン：Thonik

公式 web : <http://www.spiral.co.jp/sicf/>
SICF11 公式 TWITTER: http://twitter.com/sicf_official



第 10 回 SICF 会場風景 Photo: Katsuhiro Ichikawa

■審査員について

＜ゲスト審査員＞

服部 滋樹(デザインオフィス graf 代表)

＜レギュラー審査員＞※50 音順敬称略

浅井 隆(有限会社アップリンク社長、「webDICE」編集長)

岡田 勉(スパイラルチーフキュレーター)

佐藤 尊彦(株式会社ビームス販売促進部プレス係長)

南條 史生(森美術館館長)



服部 滋樹



浅井 隆



岡田 勉



佐藤 尊彦



南條 史生

■顕彰について

国内外において幅広い分野でのクリエイションに携わる審査員と入場者の投票による審査の上、授賞を行います。

グランプリ： スパイラル 1F ショウケースで展覧会の実施。スパイラルペーパーでの紹介。
 次回 SICF への出展招待。

準グランプリ： 次回 SICF への出展招待。

オーディエンス賞： 次回 SICF への出展招待。

各審査員賞： 次回 SICF への出展招待。

スパイラルマーケット賞：スパイラルマーケットで作品を展示・販売。次回 SICF への出展招待。



スパイラルは 2010 年 10 月、25 周年を迎えます。

参考資料

これまでの SICF 参加クリエイターたちの活躍を一部ご紹介します。

川瀬浩介

<http://www.kawasekohske.info/>
第 3 回 SICF グランプリ受賞



『Long Autumn Sweet Thing in
高松丸亀町』

第 3 回 SICF に光と音のインスタレーション『Long Autumn Sweet Thing』を出展し、グランプリを受賞した川瀬浩介は、光や映像、音を用いたアート作品を展開してきました。BankART1929 Yokohama で開催された「心ある機械たち」ではベアリングの球が鉄琴を自動演奏する楽器『ベアリング・グロッケン』を出展、NHK 教育「からだであそぼ（2008 年度）」「あさだ！からだ！（2009 年度）」の音楽を一部担当するなど幅広い活動を行っています。2009 年は初春から「台北・横浜アーティスト交換プログラム」に参加、11～12 月にかけては高松丸亀町商店街のクリスマスキャンペーンにおいて『Long Autumn Sweet Thing』の新作を展示したほか、『ベアリング・グロッケン II』が文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品に選出されました。

塩保朋子

第 6 回 SICF グランプリ受賞



『cutting insights』（2008 年）
h.650 x w.350 cm、ケント紙
撮影：木奥恵三
Courtesy of
SCAI THE BATHHOUSE

学生の時に、植物の葉脈の繊細でダイナミックな形に魅せられ、その葉脈を 1 本 1 本カッターで切り抜いてみたことが、現在の作品のきっかけとなったという塩保朋子は、「自然」をテーマに作品を制作しています。京都市立芸術大学で彫刻を専攻し、大学卒業後の 2005 年に生物の細胞が成長していくさまや動植物の全身に脈脈と流れる生命を表現したカッティング作品で第 6 回 SICF でグランプリを受賞。2006 年には越後妻有アートトリエンナーレの福武ハウスに出展、2007 年 VOCA 展に選出、また 2009 年は五島記念文化賞 美術新人賞を受賞するなど確実に活躍の場を広げ高い評価を得ています。現在東京都現代美術館で開催されている「MOT アニュアル 2010: 装飾」(～4 月 11 日)に出展中。

印デザイン

<http://www.indesign.jp/>
第 7 回 SICF 準グランプリ受賞



第 7 回 SICF
準グランプリ受賞作品
『hoop』

池内昭仁と石井保幸からなるプロダクトデザインユニットです。第 7 回 SICF では、丸型蛍光灯という身近な素材を使い、洗練されたデザインの照明器具『hoop』を発表。作品の完成度の高さとともに、サークル状に並べられた白いリングが暗闇に浮かびあがるプレゼンテーションの美しさが高く評価されて準グランプリを受賞しました。

現在は、企業とのコラボレーションなどを行いつつも、ハンドメイドによるプロトタイプの製作など、大量生産では作ることのできない斬新なデザインの試みを積極的に行ってきました。2008 年には LED 照明『pool』がミラノサローネでデザインレポート賞にノミネートされるなど、大きな反響を呼んでいます。

Micro Works

<http://www.microworks.jp/>
第 4～9 回 SICF 出展



長いコードを植物の蔓に見立てた充電器 iida AC Adapter 『MIDORI』
(2009 年 4 月発表)

MicroWorks は、学生時代からオリジナルデザインの企画・制作を行っていた海山俊亮が 2003 年に立ち上げたデザインレーベルです。

SICF では、あらかじめ陳列された本の形にくりぬかれた本棚『Book Box』や、左右をキツツキと木に見立てた箸『Stickpecker』など、美しくユーモアあふれるプロダクトを発表してきました。

家具、アクセサリ、空間など、幅広いデザインを手掛けており、今年 2 月には、携帯を充電する AC アダプタコードを一本の電線に見立て、そこで羽を休める小鳥たちをモチーフにした充電器専用のアクセサリ『REST』が、KDDI が展開する携帯電話ブランド「iida」から発表されました。